

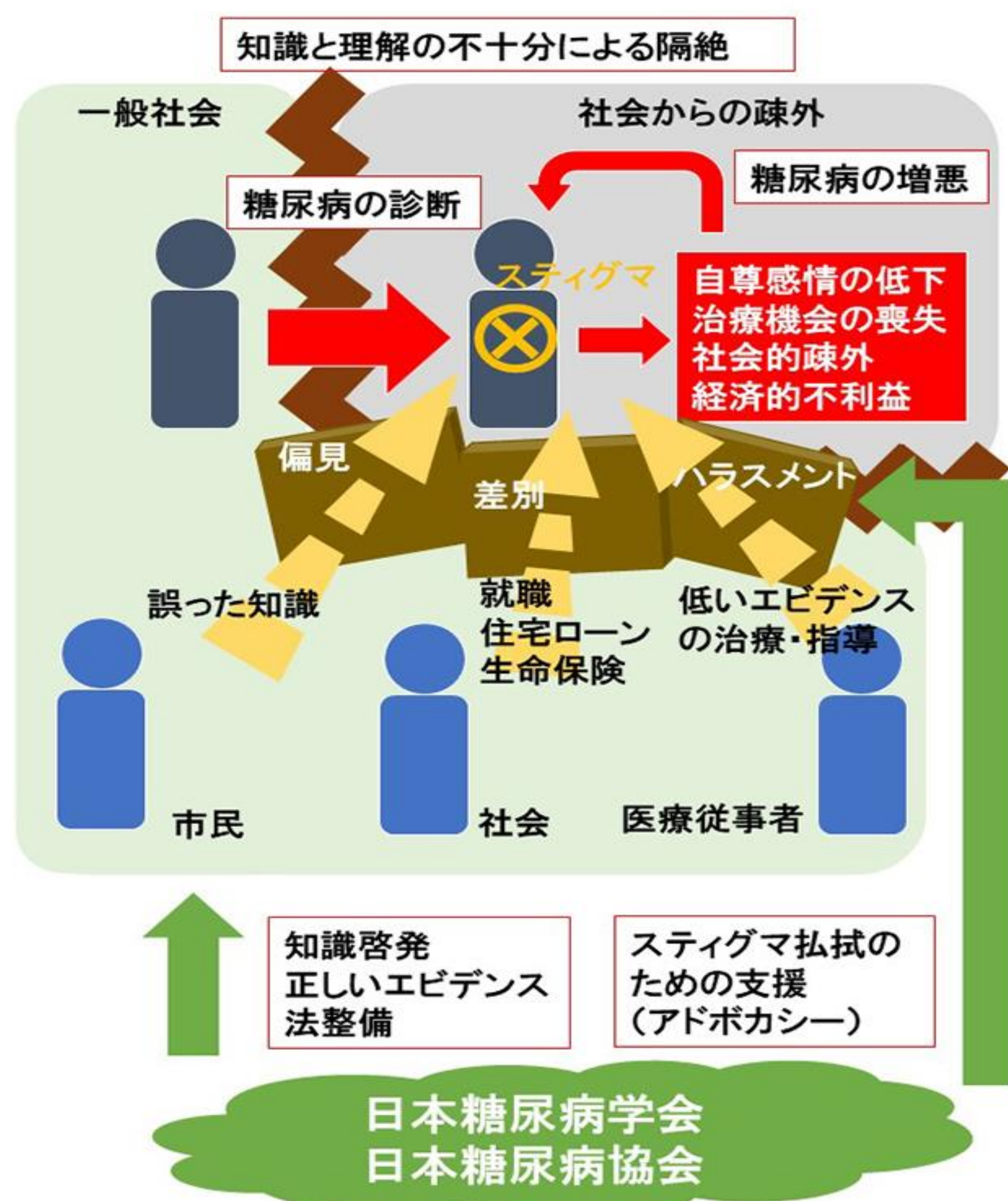
◆糖尿病がある人を取り巻くと誤解や偏見 ～スティグマとは～



社会の一部では、糖尿病のある人が誤解や偏見、差別により不利益を被るケースが報告されています。**誤った知識や情報が拡散することにより、対象となった者が精神的・物理的に困難な状況に陥ることをスティグマ**といいます。たとえば、「生命保険に入れない」、「住宅ローンが組めない」、糖尿病の発症には個人の力では解決できない要素が大きく関わっているにもかかわらず「個人の怠惰や能力の欠如とみなされる、生活習慣を変えなさいと言われる」などが**糖尿病のスティグマ**にあたり、糖尿病のある人に対する誤解や偏見を招いています。

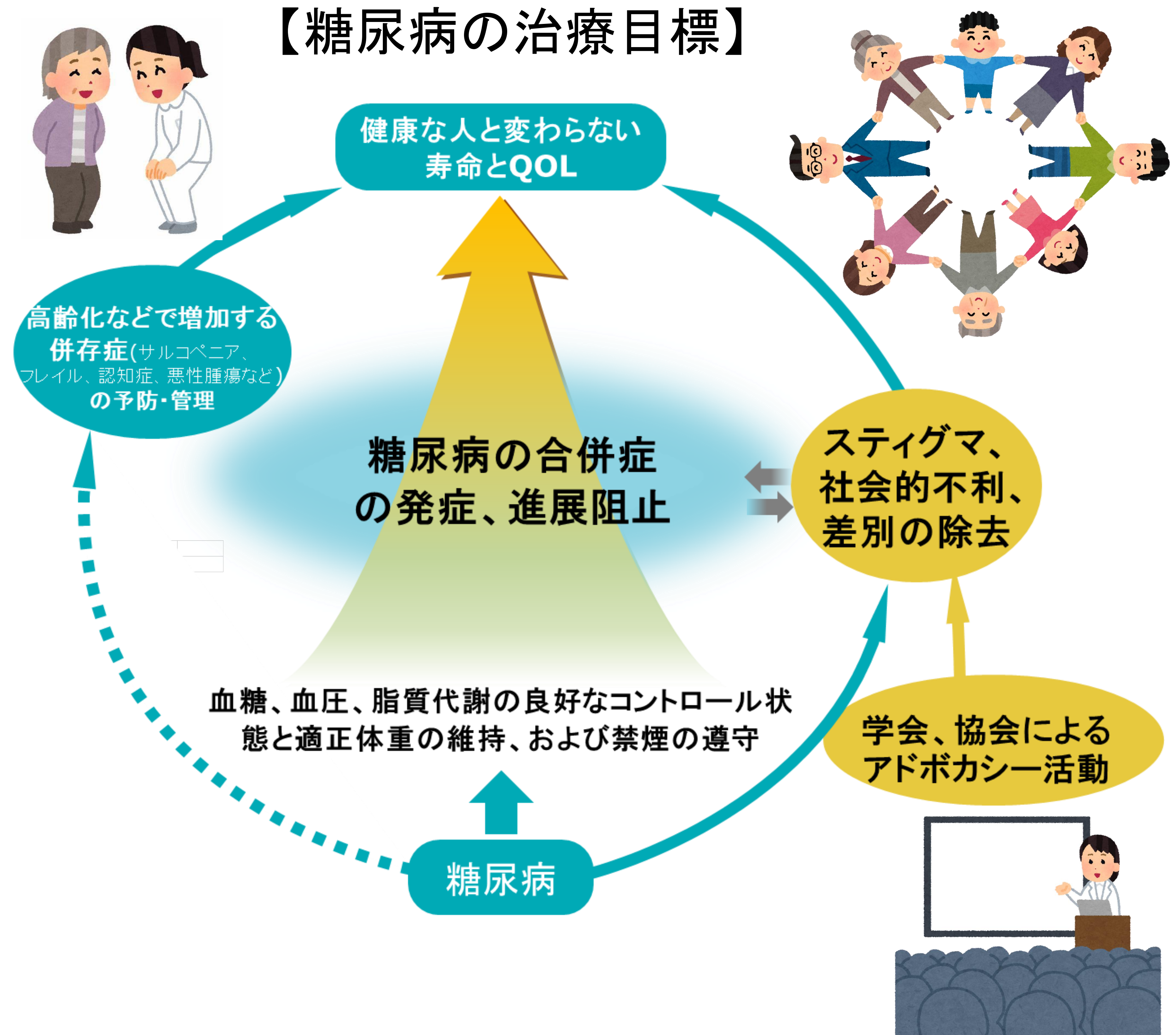
日本糖尿病教育・看護学会誌 26,1,2022
糖尿病 66:240-242,2023

【糖尿病のスティグマの環境構造】



公益社団法人日本糖尿病協会HPより

【糖尿病の治療目標】



糖尿病治療ガイド2022-2023,2022,p. 31文光堂より改変

◆糖尿病についての正しい知識を！あなたの健康や、糖尿病のある人への優しさに繋がります！

糖尿病のある人は短命であると誤解されがちですが、それはもう過去の話です。糖尿病のある人の死亡時年齢は日本人一般と2歳程度しか差がないこと、糖尿病が生命予後に悪い影響を与えることがないことが近年明らかになっています。

平均死亡時年齢	男性	女性
糖尿病のある人	77.4歳	82.0歳
糖尿病のない人	79.3歳	84.4歳

(J Diabetes Investig 13 : 1316-1320より改変)



＜日本糖尿病学会、日本糖尿病協会の取り組み＞

糖尿病の正しい知識を社会全体に知ってもらうことが糖尿病のある人が社会的な不利益を被らない社会を目指す要因になると考えられます。無病息災で糖尿病がよきパートナーとなることを目指しましょう！

＜担当：医師＞ ＜後援：高槻市＞